

● 予算及び決算の公開について ● 新規事業について

下牧 一郎議員
立憲会代表



その他の質問
・観光の産業化について
・防災対策費について

代表質問

問 当初予算案は、市民にとつて大変関心が高い重要な議案であるにも関わらず、市民の皆様へは、予算案が出来上がった後に新聞発表で初めて概要が知らされる。

答 他の県市町では、「市民の皆様の財政に関する関心と理解を深め、透明性の高い財政運営を行うため」として、予算編成過程を公開している。

問 そこで、「当初予算と決算書」をもっと市民目線で、皆様に解りやすく丁寧早く、HPにて公開すべきだと思いが市長の見解を伺う。

答 総務部長査定から市長査定までの期間がわずか数日であり、当初予算案に意見等を盛り込むことは、現実的には難しいのが実情。

問 また、当市のように地方交付税等に依存せざるをえない自治体では、12月末に国が示す地方財政対策の概要に沿って、予算を編成する必要があり、編成スケジュールを前倒しすることも難しい。

答 予算の説明資料は、市民目線に立ち、内容を変更し、市民の皆様から広く提案や意見をいただけるよう充実させる。また、

決算状況等の説明資料も、より詳細で解りやすい内容に充実させ、市民の皆様にも広く開かれた市政を推進していく。

問 ①県の平成29年度予算案では、新規事業として「30歳の成人式開催支援事業」がある。当市でも、この事業を活用して新規事業として、補助金を出す考えは無いか伺う。

答 ②次に、当市の新規事業「グルメフェスタin越前大仏開催事業」として350万円が計上されているが、この事業の具体的な内容を伺う。

問 ①県内を4地区に分けた広域的な地域での開催を想定しており、勝山市単独での開催はやや想定外となる。勝山高校同窓会の方々等にご意見を伺い、30歳の成人式開催の機運が高まるようなら、大野市等との連携も視野に入れ、平成29年度補正予算での対応を検討したい。

答 ②食を味わってもらえる市内外の飲食店を中心とした、集客が図れる魅力ある飲食店30店舗以上の出店を目指し調整を進めている。当日は、食によって多くの人で賑わいのある門前町にしたい。

● 新年度予算「ふるさと創生・移住課」の新設について ● 農業に対する取り組みについて ・農地情報について ・今後の農業公社のあり方について

丸山 忠男議員
市政会代表



その他の質問
・まちなか観光誘客について

代表質問

問 地方創生U・Iターン関連施策の「ふるさと創生・移住課」新設に対する市長の見解を伺う。

答 「ふるさと創生・移住課」では、これまで実施してきたU・Iターン施策の推進はもとより、新年度から実施する新たな施策や拡充する施策のうち、奨学金返還者や医療・介護者以外の幅広いU・Iターン者を対象にする施策を強力に推進する。特に、移住相談を専門に担当する移住コンシェルジュを配置するなかで、金融機関、市内事業所、宅地建物取引業者や国・県などの関係機関との連携を密にし、移住に関する情報の収集や蓄積、U・Iターン希望者が知りた

問 ①勝山市の田園空間を保護するうえで重要となる、農地情報の管理の状況及び利活用の現状について見解を伺う。

答 ②国は農地中間管理事業を創設し勝山市において、農業公社が行政に代わって取り組んでいるが、

問 ①平成27年4月に、全国農業会議所で全国的に公表する「全国農地ナビ」サイトで、これまで非公開であった農地台帳を、インターネットでも農地の所在や意向などの一定の情報を閲覧できるようにしている。

答 来年度からは、入力した情報が逐次更新される公開システムに変更となり、現在、農業委員会ではデータ変換・移行作業を実施している。

問 ②農業公社の運営については、「勝山市農業公社組織課題検討委員会」の中で議論がなされ、中核的な業務である農地集積や担い手の育成支援事業を進める中で、コスト削減や新規事業を検討するなど、収支改善することとしている。

答 答申内容を踏まえて、今後、継続して総合的に検討していく。